

問題 1

【出題の意図】

- ・自分の考えや感想を交えず、筆者の主張を述べているか

【解答例】

流暢さや即座の応答が重視される現代において、安易な言葉に頼らず、現実の複雑さを受け止めるために、言葉をゆっくり選び、時間をかけて話すことが重要であり、その際は、聞き手側は待つ努力が必要である。
(96 字)

問題 2

【出題の意図】

- ・キーワード：対話、コミュニケーション、信頼関係
- ・自分自身の考えを筆者の考えと照らし合わせて、論理的に考え、説明できているか。
- ・医療専門職を目指す者として、職業観をどの程度有しているか。

【解答例】

本文が指摘する「待つ努力」は、医療の現場において特に重要になると考える。医療の世界では、正確で迅速な判断が求められる一方、患者との信頼関係を築くためには、安易な言葉ではない、心に寄り添う言葉が必要である。

私は病院でのボランティア活動を通して、そのことを痛感した。病室で一人の高齢の患者とお話する機会があり、ご自身の病状や不安を語り始めたが、たびたび沈黙された。私は最初、何か言葉を返そうと思ったが、焦らず、ただ彼女の言葉をじっと待つことにした。すると、しばらくして彼女は、家族にも言えずにいた「このまま死んでしまうかもしれない」という不安を、ゆっくりと語ってくれた。その言葉は、安易な慰めや励ましでは決して引き出せない、心からの本音だったと思う。彼女が言葉を選び、紡いでくれた時間は、私にとって、彼女の現実を深く理解するための貴重な時間だった。

看護師は、患者の身体ケアだけでなく、心のケアも担う。それには、患者の状況や思いに寄り添った言葉が必要であり、患者が言葉に詰まった時でも、急かさずに「待つ」という姿勢が不可欠であり、信頼関係を築く第一歩になると考える。

本文が述べるように、「対話」は単なる情報のやり取りではなく、相手が言葉を探す時間を尊重し、その沈黙に耳を傾けることで、相手の心の奥底にある「生きた言葉」を受け取ることができる。私は将来、患者の「待つ」時間を大切にできる看護師になりたい。(598 字)